



令和6年度公開講座

環境学入門

受講料無料

～人文社会科学部地域政策課程 新・地域環境プログラムの紹介～

後援：岩手県教育委員会(予定) 盛岡市教育委員会(予定)

岩手大学人文社会科学部地域政策課程環境共生プログラム(令和7年度～「地域環境プログラム」に名称変更予定)では、環境の視点から持続可能な社会づくりの諸課題に取り組み、地域社会に貢献できる人材の養成を目的として教育研究を行っています。

今回の公開講座では、高校生を主対象として、「環境学」を焦点とする本プログラムの教育研究の内容を紹介するとともに、地域社会に関わる課題について、環境リスク学・環境生態学・環境社会学・環境経済論・環境政策論などの分野から話題を提供します。

令和6年7月27日(土) 13:00～受付
13:30～16:30 講義

場所：岩手大学 学生センターA棟

1階 G1大講義室→ 2階G2大講義室

(同じ建物の2階です)

対象：高校生・市民一般

持ち物：筆記用具・飲み物

申し込み方法：

～お申込みフォームから～

右のQRにアクセスし申込フォームにご入力下さい。

～メールから～ E-mail：pedagogy@iwate-u.ac.jp

上記メールアドレスの件名に「環境学入門」申込み」とご入力のうえ、

- 参加者氏名
- ふりがな
- 性別
- 生年月日
- 年齢
- 学校名
- 学年
- 郵便番号
- 住所
- 保護者氏名
- 緊急時用電話番号
- メールアドレス
- 本講座を知ったきっかけ
- 講座で写真撮影したものを、HPとチラシに掲載しても良いか否か。

※受付後に上記アドレスより、ご連絡差し上げますので、必ず受信できるよう設定をお願いします。

申込締切：令和6年7月22日(月) ※受講者が多数の場合は期日より前に締め切る場合がございます。



お問い合わせ

岩手大学 地域社会教育推進室

住所：岩手県盛岡市上田4-3-5

Tel：019-621-6492・6624

Mail：pedagogy@iwate-u.ac.jp

URL：<https://www.ccrd.iwate-u.ac.jp/community/>



※お申し込みいただいた方の個人情報は、目的の範囲を超えて利用することはありません。

ご提供頂いた個人情報は、お客様の同意なく第三者に提供しません。

国立大学法人岩手大学における個人情報の取り扱いについて

c6234ad73db27cfb966a5241b3871967.pdf (iwate-u.ac.jp)



＜講義内容＞

13:30～13:35	はじめにー開講にあたってー	中島 清隆 (環境共生プログラム窓口教員)
13:35～14:05	身近な地域に迫るマイクロプラスチック問題	寺崎 正紀 (環境リスク学・教授)
<p>プラスチックは軽くて丈夫で便利な製品のひとつです。しかし「海でのある出来事」がきっかけで、魚の側面、とりわけ「マイクロプラスチック」の流出が新たな環境問題を引き起こしています。本講義では東北沿岸や北上川など東北の水環境に加えて、いつも通っている市内の道路でも汚染が進んでいる現状を紹介し、地域における対策の必要性を解説します。</p>		
14:05～14:35	気候変動が東北のお魚に与える影響	金森 由妃 (環境生態学・准教授)
<p>気候変動によって桜の開花や真夏日の到来が年々早くなっています。このような環境の変化は海の中の生物にどのような影響を与えているのでしょうか？今回は、東北の海に生息する美味しいお魚たちの大移動について紹介します。</p>		
14:35～15:05	水使用をめぐるグローバルな危機と日本社会	塚本 善弘 (環境社会学・教授)
<p>生命維持・社会活動に不可欠な水の需要が、近代化に伴い急増する一方、世界的には多くの方が安定的な水利用を脅かされたままで、気候変動・環境汚染による水不足も懸念されています。水資源が豊富に見える日本社会は、こうした世界の水危機とどのように関係しているのでしょうか？グローバルな現状と日本との関わりについて概説します。</p>		
15:05～15:20	休憩	
15:20～15:50	持続可能な社会づくりに向けてー教育、環境配慮型行動と経済発展について	朴 香丹 (環境経済論・准教授)
<p>国連が掲げたSDGs (持続可能な開発目標) は人々の幸福と共に、持続的な開発が期待されているが、化石燃料の使用から温室効果ガスの排出により環境問題が深刻化しています。高等教育及び環境配慮型行動と経済成長などの関係を明らかにし、経済学の観点からの解決アプローチとして、実証研究の結果とその対策の概要を紹介します。</p>		
15:50～16:20	持続可能な「いわて」地域社会の形成に向けてー環境政策(論)研究の観点から	中島 清隆 (環境政策論・准教授)
<p>岩手県内の東日本大震災被災地を始めとして、地域課題の克服を目指す持続可能な「いわて」地域社会の形成を続けている2つの取組を10年以上、事例研究として行ってきました。講座では、環境政策研究(論)と持続可能な地域社会(形成)研究を概説しつつ、その観点から2つの事例研究における分析結果の概要を紹介します。</p>		
16:20～16:30	質疑応答・討論 終わりにー閉講にあたってー	中島 清隆 (環境共生プログラム窓口教員)

新型コロナウイルス等感染症対策へのお願い

- ・体調がすぐれない場合の参加はご遠慮ください。
- ・岩手大学内で新型コロナウイルスやインフルエンザウイルス等が感染拡大した場合、急遽中止となる場合がございます。メールでお知らせするほか、地域社会教育推進室のホームページにご確認のうえ来場ください。



岩手大学 地域社会
教育推進室HP

岩手大学 研究支援
産学連携センターFB